





■ケースのはずしかた（テーブルなどに置いてから）

- ①ケースの上面を一度手で強く押さえる。
- ②次にケースツマミを持ってケースを押し下げながら外側に開く。
- ③持ち上げる。

① ケースツマミ

②

③

温度設定ボタン

スチーム

高

中

低

切

設定

温度表示ランプ

「切」ランプ

タンク

アイロン

スタンド（給電用）

電源コード

電源プラグ

ショットボタン

スプレーボタン (NI-WL702 NI-WL602 のみ)

ドライ/スチーム切換レバー

注水口ふた

タンク取りはずしボタン

スプレーノズル (NI-WL702 NI-WL602 のみ)

カバー

かけ面

赤印

●この印以上引き出さない。

交流100V

繊維案内表示

説明のイラストは NI-WL702 を使用しています。

スタンド裏面

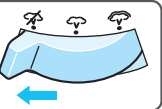

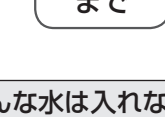
製造番号

クラブパナソニックの  
ご愛用者登録時に必要です。

アイロン接続部

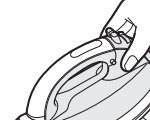
スタンド接続部

(ドライで使う場合は水は不要)

- 1** ドライ／スチーム切換レバーを「**ドライ**」にする  
(水漏れ防止のため)  

- 2** タンク取りはずしボタンを押しながら、タンクをはずす  

- 3** 注水口ふたを開け、水を入れる  
上水道以外の水を入れない  
満水目盛まで  


こんな水は入れないで！ ● 軟水器の水  
● アルカリイオン整水器の水  
● リネンウオーターなどの香料を含んだ水など

- 水を入れ過ぎるとスタンドに置いたとき、スチームが出ます。
- タンクに水を入れる前に、電源プラグをコンセントへ差し込まないでください。

- 4** 注水口ふたを必ず閉めてから、「カチッ」と音がするまで押してタンクを取りつける  


●「切」ランプが点灯

3 アイロンをスタンドに置き

**設定で温度を設定する**


- 衣類の生地によって、使用できない生地もあるため、使用前に衣類表示をよくご確認ください。
- 温度を設定すると温度表示ランプが**点滅**します。
- スタンドに置かないと、温度設定ができません。

アイロンの温度上昇に応じてかけると、時間のムダがありません。  
 ●高い温度から低い温度に設定すると、低い温度になるまで十数分かかる場合があります。

前もって衣類を分類しておきましょう。

### スプレーのりなどの仕上げ剤

洗濯物をよく乾かしてからスプレーのりをかけ、  
**必ず「ドライ」でアイロンかけを！**（P.13）



●少し強めに仕上げたいときは…

スプレーのり ➡ アイロンかけ  
(ドライ)

を繰り返します。

（一度に多量のスプレーのりをかけると、  
かけ面にこびりつき原因になります。）

### 洗濯のりづけをした 生乾きの衣類

**「ドライ」でアイロンかけを！**

アップリケ、裾上げテープ  
など、のりがついているもの

必ず**「あて布」**をして、  
**アイロンかけを！**

**かけ面にのりが付着した場合は、その都度お手入れを！**（P.14）

●付着したまま使うと、かけ面にのりがこびりつき、取れにくくなります。

### 水漏れストッパー

使用中、かけ面温度が下がると、スチームが止まります。

水漏れストッパーがはたらいたとき、  
内部で「ピン」と音がします。

### うっかりストッパー

アイロンをスタンドに放置しておくと、  
**約 10 分後に自動的に電源を「切」にします。**  
（「切」ランプ点灯）続けて使用する場合は、  
温度設定をやり直してください。

■スタンドからはずして、連続してアイロンかけできる時間（ノーマルスチームの場合）

➡ 約 1 分 30 秒～約 3 分（「高」の場合）

- 使用条件により異なります。

**押さえる**

折り目をはっきりつけたい所やガンコなシワの部分はしっかりと押さえて。

**浮かせる**

毛足の長いウール繊維の仕上げや、こみ入ったデザイン部分の仕上げに。

**両手を使って**

片方の手で布地を引っ張りながらシワを上手にのばして。

**縫い目は引っ張り気味に**

細かいシワが残らないように片方の手で引っ張り気味に。

**カフス**

内側にアイロンをすべり込ませながらしっかりと。

**襟**

引っ張りながら、両端から中央に向かって半分ずつかけます。

**かけ面を上手に活用！**

アイロンを持ち替えずにどの方向でもかけられます。

必要以上の力をかけないで衣類の上を軽くすべらせるだけでOK!

面積が広い衣類は横にすべらせると効率アップ!

かけ面の後部でも細かい部分がかけられます。

●アイロンをスタンドからはずすと、温度表示ランプは消えます。

**ガンコなシワを上手に伸ばすには**  
 ショットをかけると効果的です。

**【確認】**  
 温度設定を「高」にしておく。

● **ショットボタンを操作する。**

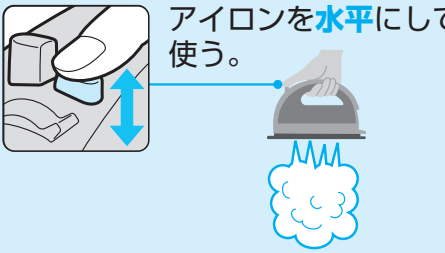
- ショットボタンを押したときのみの、強いスチームが出ます。
- 連続でショットボタンを押す場合は、2 秒以上間隔をあけて使用してください。
- スタンドからはずしてショット可能な回数は 5 ～ 10 回が目安です。  
 ショットの勢いが弱くなったなら、給電してからお使いください。

● **スチーム使用時にショットボタンを操作すると、ショットの勢いが弱くなることがあります。**

● **ドライ / スチーム切換レバーを「ドライ」にするとショットの勢いが増します。**

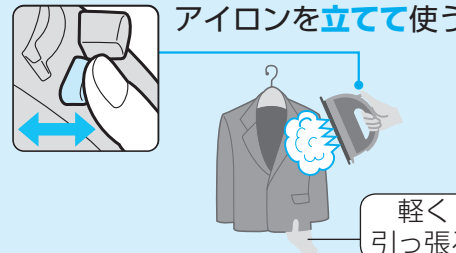
**パーورشット**

アイロンを**水平**にして使う。



**ハンガーショット**

アイロンを**立て**て使う。




かけ面を衣類から離して、目立たない所のためにしがけをしてからお使いください。(特にカシミアなどの起毛した衣類)

**セーター** **ご使用例**

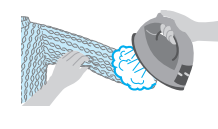
**背広 / コート**

**全体仕上げ**




ショットを全体にかけて形を整えます。

**伸びきった袖口やゴム編み部分**



ショットをたっぷりかけ、たて方向に引っ張りながら整えます。

**ハンガーにつるしたままの衣類に**



**コートや毛足の長い衣類は…**

ショットをかけた後、水分を残さないようにお手持ちのブラシで毛足を整えます。

**ドライ/スチーム切替レバー**

**ドライの場合**

「**ドライ**」にする。

薄手の布や混紡などの仕上げに「**ノーマルスチーム**」

厚手の布や綿、麻などの仕上げに「**ハイパワースチーム**」

**スプレーボタン**  
(NI-WL702/NI-WL602のみ)  
ガンコなシワや、綿・麻などの植物性繊維のシワ伸ばしに。

アイロンを**水平**にして、スプレーボタンを操作する。

●霧吹きとしてお使いいただけます。  
●ドライ/スチーム切替レバーが、どの位置でも使用できます。  
また、設定温度に関係なくお使いいただけます。

**アイロンをかけていないときは**

**給電**をしましょう  
(必ず専用のスタンドをお使いください)

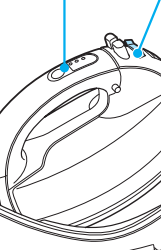
接続部へ**確実に**戻す

●逆方向や横方向に置くと、接続部が変形して通電できなくなります。  
●アイロンをスタンドへ戻したときに、温度表示ランプが**点滅**していれば、**点灯**するまでお待ちください。

**1 温度設定を「切」にする**


- 「切」にしないで電源プラグを抜き、再度差し込むと、前回使用の設定温度になることがあります。


「切」ランプ点灯



**① 5 cm程度引き出す**

**② ゆっくりと戻す**

**2 ドライ/スチーム切換レバーを必ず「ドライ」にし、タンクの水を捨てる**



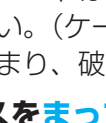

ドライにする  
(水漏れ・腐食防止のため)

- 水を捨てた後、タンクに水滴が残りますが、差し支えありません。

**3 電源プラグをコンセントから抜き電源コードを収納する**

- 電源コードは最後まで収納してください。(ケースに電源コードがはさまり、破損の原因)

**4 ケースをまっすぐかぶせ手で押さえ確実にセットする**

**①**  **②** 

→ 「カチッ」

- アイロンは熱いまま収納できますが、ケースに水滴がつく場合があります。

**お願い**




- 通電したままケースをセットしないでください。

**⚠ 警告**

**!** 電源プラグを持って巻き取る  
(プラグがあたって、けがの原因)

**⚠ 注意**

**!** ケースをスタンドへ確実に  
セットする(運搬時)  
(アイロン、スタンドが落下  
してけがの原因)

<p><b>かけ面に付着したのり</b></p> <p>よく冷えてから、その都度 <b>ぬれた布</b> でふき取る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クレンザー・シンナーなどは使わないでください。</li> </ul> 	<p><b>アイロンやスタンド</b></p> <p><b>やわらかい布</b> でふく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 固形せっけんをといた水に布を浸してよくほり、ふき掃除してください。</li> </ul> 	<p><b>接続部</b></p> <p><b>やわらかい布</b> でふく</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 磨かないでください。 (接触不良の原因)</li> </ul> <p>スタンド 接続部</p>  <p>アイロン接続部</p>
--	--	--

かけ面のスチーム穴が詰まったときは、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

取扱い説明書、本書本体及び付属品にの注意に従って使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

(イ) 無料修理を必要とする場合には、商品に瑕疵が明らかになり難いことを確認の上にてお買い上げの販売店にお申し付けください。

(ロ) お買い上げの販売店にて無料修理を依頼しなおされない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。

2. 故障後の商品の修理依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。

3. 商品等等で本保証書に記した取扱い説明書で無料修理をお受けになれない場合は、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。

4. 保証期間内での次の場合は原則として有料にさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り及び不適当な修理や改造による故障及び損傷

(ロ) お買い上げ後の取付場所の誘致、輸送、落下などによる故障及び損傷

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び盗火、盗害、火災害(火災、盗火等)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷

(ニ) 船舶、船舶等に搭載された場合による故障及び損傷

(ホ) 一級家庭用以外（例え工業業務用など）に使用された場合の故障及び損傷

(ヘ) 腐食、汚損、及びよりによる故障及び損傷

(ト) フラスコ等の容器（汚染物質添加も含む）及びメッキの磨耗・剥離による故障

(チ) 本書のご添付がない場合

(リ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き替えられた場合

(リ) 持ち帰修理の対応品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様が負担となります。出張修理を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。

5. 本書は日本国内における有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

（ご相談窓口一覧表を別冊の紙の一覧表を参照ください。）

修理メモ

※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書名）、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全な生活活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※ この保証書は、本書に添付した期間、条件のもとにて無料で修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）及びこれ以外の事実事項に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間前後の修理について不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理や補修費用は作部品毎の有効期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※ This warranty is valid only in Japan.